

平成26年度 第2回 千葉市稲毛区公民館運営審議会議事録

1 日 時 平成27年3月18日(水) 午後2時～4時

2 場 所 小中台公民館(講堂)

3 出席者 (委員14人)

飛鳥井 航一委員長 青柳 典子副委員長

佐々木 美智子委員 周東 ひさ子委員

藤川 勇委員 森脇 清委員

前島 正明委員 土屋 敏夫委員

城 久委員 種池 賀子委員

溜 昭代委員 菊池まり委員

三橋 和生委員 桐原 公夫委員

(事務局11人)

金谷館長、菊地副館長(小中台) 中村館長(黒砂)

倉原館長(轟) 若山館長(稲毛) 鈴木館長(千草台)

小川館長(草野) 渡邊館長(山王) 山本館長(都賀)

石橋館長(緑ヶ丘) 塚本副主査(轟)

4 会議次第

(1) 開会

(2) 委員長あいさつ

(3) 小中台公民館長あいさつ

(4) 議題

① 平成26年度公民館利用状況について

② 平成26年度公民館事業報告について

③ 平成27年度公民館事業計画について

④ その他

(5) 閉会

5 議事の概要

(1) 平成26年度公民館利用状況について

稲毛区各公民館の利用状況を事務局から説明した

(2) 平成26年度公民館事業報告について

稲毛区各公民館の事業報告を事務局から説明した

(3) 平成27年度公民館事業計画について

稲毛区各公民館の事業計画を事務局から説明した

(4) その他

特になし

6 会議経過

- 事務局 それでは、これより、平成26年度第2回千葉市稲毛区公民館運営審議会を開会させていただきます。
- 事務局 本審議会は、千葉市情報公開条例第25条に基づき会議を公開し、傍聴を認めております。また、議事録については、公開することとなっておりますのでよろしくお願いいたします。
- 事務局 それでは、次第にしたがいまして、進めさせていただきます。初めに委員長より、ごあいさつをいただきたいと存じます。飛鳥井委員長、よろしくお願いいたします。
- 委員長 あいさつ
- 事務局 続きまして、小中台公民館館長よりごあいさつ申し上げます。
- 中核館長 あいさつ
- 事務局 ここで、今年度初めてご出席となります委員の方をご紹介します。小中台中学校より桐原公夫様でございます。
- 桐原委員 あいさつ
- 事務局 それでは、このあとの議事について、委員長よろしくお願いいたします。
- 委員長 本日、委員14人のうち14人のご出席がありますので、規定により、会議は成立しております。
- 委員 次に、議事録署名人の選出ですが、私から指名させていただきます。よろしいでしょうか。
- 委員長 「異議なし」と呼ぶ者あり
- 委員長 ありがとうございます。それでは、菊池委員さん、溜委員さんのお二人にお願いいたします。
- 委員長 それでは、「議題1 平成26年度公民館利用状況について」事務局より説明をお願いします。
- 事務局 （「議題1 平成26年度公民館利用状況について」説明 公民館の開館日数、利用人数、利用時間別人数及び内訳等 公民館図書室の蔵書冊数、登録者数、貸出冊数、リクエスト件数等）
- 委員長 ただ今の事務局の説明について、何かご質問はございませんか。
- 前島委員 公民館の利用状況について、稲毛公民館と山王公民館では1日全日の利用者がいますが、どんな種類の利用なのか、また、1日利用した場合に他の利用者どう兼ね合いをとっ

ているのか聞きたいのですが。

事務局 まず、山王公民館については、選挙会場として1日利用されており、その際来館した利用者を1日利用者として数えています。稲毛公民館については、1日に2コマを連続して使用した利用者を1日利用者として数えています。また、中には様々な事情により、月に5コマ以上利用する方々もいらっしゃいます。

前島委員 定期利用団体は、月2コマまでが優先だと理解していましたが、その後はどの様に予約しているのですか？

事務局 3コマ・4コマ目は先着予約で、5コマ目以上は直前予約で対応しています。

委員長 稲毛公民館の1日利用、4, 343人というのは、夜も含めての1日利用なのでしょうか？

事務局 ガールスカウトの団体が夜も含めて1日部屋を確保して活動をしているというものがあります。それから、浅間神社のお祭りの際に、消防・警察の方々が1日利用をしています。

委員長 わかりました。1日利用は、ほかの館とは違う利用形態の様なので、表の余白にわかるように書いていただければより見やすいかもしれませんね。お願いいたします。それでは、その他の質問はございますか？

種池委員 図書室の利用について質問させていただきます。私の所属する緑ヶ丘公民館の図書室は、大変利用の多いところです。他の4館の図書館と比べても決して広くもなく、場所柄がいいということもないと思うのですが、そのあたりを緑ヶ丘公民館長はどのようにお考えでしょうか？

事務局 公民館の立地が住宅街の中であるということと、特に、小学校に隣接しているために、小学生及びその保護者などの利用が非常に多くなっています。それが、蔵書数が少ないわりに、リクエストが非常に多い理由になっていると思います。

種池委員 わかりました。

藤川委員 図書館の利用者が一般と子どもに分かれています。どのような区別の仕方をしているのでしょうか？

事務局 小中学生を子ども・それ以外を一般として区別しています。

藤川委員 わかりました。

委員長 他に質問がないようでしたら、「議題1 平成26年度公民館利用状況について」の質疑に関しては締めさせていただきます。

それでは、「議題2 平成26年度公民館事業報告について」事務局より説明をお願いします。

事務局
委員長

(各公民館の事業実施状況等を説明)

内容的には、同じようなものの中に新しい時代の要請に沿ったものが含まれているように事業内容を工夫されているのだなと感じましたが、ご意見・ご質問はございますか？

溜委員

公民館によって事業数に違いがあるのですが、各館ごとに最低これだけはやろうといった達成目標等はあるのでしょうか？それから黒砂公民館の事業・「夢の箱（いいネーミングですな）」の依頼先に緑町中学校区青少年育成委員会健全育成部・子ども会とありますが、こういった団体への依頼を広げていったらいいのではないかという提案をさせていただきます。

事務局

主催事業の数については、最低いくつやらなければならない、といった目標は設けていませんが、溜委員のおっしゃった育成委員会や地域団体と連携しながら実施する事業が相当数ございます。これらも増やしていきたいと考えています。

そのようにして、現在やっている事業のほとんどは数年間継続して行っているものだと思いますが、公民館としては、それだけでは足りないので、今日的な課題をもった講座を加えたりしています。その中で、どうしても各館の事業数にばらつきが出てきてしまいます。事務局としても1事業でも多く実施したいのですが、予算的な制約などもありまして、10事業の館がいきなり20事業というのは難しいところではありますが、先ほどの地域事業との連携なども活用して1つ1つ増やしていきたいと考えています。

委員長

ありがとうございました。今後、事業の数や内容については、それぞれの館の努力や、館長会議などを通じて検討していただきたいと思います。

溜委員

黒砂公民館では休日の子どもの居場所作り、といった事業をやっています。教育委員会から何らかの依頼があって行っている事業なのですか？

事務局

その前から行っています。

溜委員

すばらしいですね。山王公民館でも中学校と一緒に事業がありましたが、中学生にも合唱など、発表する機会を与える事業があってもいいかなと思って発言しました。

委員長

ありがとうございました。ネーミングの問題だとか、地域との協力だとか、そういうことによって事業をより豊かなもの

にして行くとのことご意見をいただきました。そのほかに何かありますでしょうか？

種池委員

こうして事業全体を見せていただくと、各館長さんが、ない予算の中で非常に苦勞しながらやっているのだな、というのがよくわかります。これからは、事業をやっていく上でボランティアを探すにしても、非常に広いエリアの中から探していけないとやっていけないのではないかと感じています。そこで質問したいのですが、館長の皆様の方で、教育委員会に予算の増額を求めるといったことはやっておられるのでしょうか？

事務局

今のご質問についてですが、基本的には、教育委員会だけでなく千葉市全体がかなり厳しい財政状況にあるのが事実でございます。その中で、館長、担当主事ともに、限られた予算のなかで、講師への謝礼、段取りも含めて、四苦八苦しなからやっているというのが現状です。そういったところをご理解いただければと思います。

種池委員

増額を要求するのではなく与えられた予算の中でやりくりしているということですね？

事務局

そのとおりです。ただ、講師謝礼に関しては、増額することはないけれども、さらに減額することはないという、低値安定の状況になっています。

種池委員
城委員

ありがとうございました。
直接の質問ではありませんが、自分の地区では、民生委員会が地区の中学生を表彰したいのだが、予算がないという話を聞きました。市の財政は非常に厳しいみたいです。

委員長

アイデアや知恵を使って、やるからには実りある事業にしていかななくてはならない。そのために、工夫を含めて、協力者も含めてご努力いただければと思います。
その他にご意見はございますか？

藤川委員

千草台公民館さんのオオムラサキ観察教室ですが、公民館の中で、飼育箱のオオムラサキを観察するのか、オオムラサキの飼育されている森や林に行って観察するのか聞きたいです。それから、稲毛公民館ともう1館が備考欄が空白になっているので、他の公民館と同じように事業に関することを記入して欲しいです。

事務局

(千草台館長)

実は個人的な趣味でオオムラサキの飼育をやっています。6～7月頃に成虫になるので、公民館に持ってきたところ、好

評だったため、7月2日・31日に教室で蝶を実際に飛ばして、ジャコウアゲハという蝶と2種類飛ばしてその飛び方を比較したり、幼虫をさわらせてあげたりしました。図鑑と実際とは違うという点を重視して実際に教えた、という経緯です。

千葉市では、自然では昭和の森・泉自然公園くらいでしかみることはできません。

委員長 ありがとうございます。それから、備考欄の書き方ですが、どこから協力者を得られたか、支援団体、成人・少年教育の区別等が記載されています。できれば、各館長で話しあっていたらいいので、共通事項を記載してもらえればわかりやすいと思うので、要望させていただきます。

菊池委員 最初の公民館利用状況のところ、主催事業の利用者が前年比で1,400人増ということでした。事業報告をみるとほとんどの事業が定員か定員近くになってますので、今年度の主催事業では、広報・宣伝やその他内容など、より工夫してうまくいった、ということがあったら教えてください。

事務局 小中台公民館では、小中台小、小中台中など学校と連携してチラシを生徒に配ってもらっています。また、小中台の講座にシニア向けの青年OB・OG学級というのがありまして、そちらも地域の老人クラブに協力をしてもらって、チラシを配ってもらっています。結果として、子ども向けの映画会は定員の1.5倍、クリスマスコンサートが100名定員のところ170名の応募があったりといった成果が出ています。

委員長 それなりの工夫をすることによって、人を集めることができるということの1つの例として、ご説明いただきました。他に何かご質問はありますか？なければ「議題2 平成26年度公民館事業報告」の質疑については、締めさせていただきます。

それでは、「議題3 平成27年度公民館事業計画」について、事務局より説明をお願いします。

事務局 (「議題3 平成27年度公民館事業計画について」説明各公民館の事業計画等)

委員長 各公民館の計画について説明していただきました。曜日を工夫して参加者の便を計ったとか、中身を変えてみたとか、昨年度の反省を生かしたなど、様々な発想から27年度計画を作成されたことがわかりました。何か質問はございますか？

種池委員

これからの公民館のありかたについて、発言させていただきます。認知症の方のための講座の話がありましたが、私達は各6団体の社会福祉協議会とジョイントして認知症の講座を開きました。そうしたら、部屋に入らないほどのお客様が来てくれました。それで、第2回をもっと大きい会場でやりました。そして、ドクターはこの地域のドクターにお願いしました。

地域のドクターというのは、やはり地元信頼性があるのだと思います。イベントは大成功しました。

20人や30人の少人数の講座も大事だとは思いますが、全体を見て、子どもたちの問題をどうすればいいのか、高齢者の問題をどうすればいいのか、今の社会が何を求めているのかを把握して、様々な団体とジョイントする事業を進めていただきたいというのが、私の要望でございます。

認知症など、皆が不安になることについて、身近な先生にお話しいただいたことが、私たちのイベントの成功の理由の1つであったかと思っておりますので、ここで報告させていただきます。

委員長

ありがとうございました。今のお話はとても参考になるご意見だったと思います。身近な、この地域にいらっしゃる先生が講師になられた場合に、たくさんの方が参加してくれる。それから、現代、今悩んでる方が多い問題について、積極的に取り上げていくのも、非常に大事なことではないかというご意見をいただきました。他に何かありますか？

前島委員

千草台公民館の鈴木館長にお尋ねします。平成27年度の計画の中で、小学生対象に再生紙を利用したはがき作りの講座がありますね。この小学生というのは、体の悪い方ととらえていいのですか？

千草台館長

社会福祉事業団の障害者自立支援施設に通っている体の不自由な人達に小学生を対象に教えてもらうものです。実は亥鼻にも福祉作業所があり、そこでは藍染をやっています。どちらにしようか迷ったのですが、易しい方がいいかなということで、鎌取さんをお願いしました。続けてやっていきたいと思っています。

委員長

ありがとうございました。そういう障害のある方にも、講師になってもらって、事業を進めているといのも、とても大事なことだと思います。他に何かございますか？

土屋委員 山王公民館の運営懇談会は、育成・学校教育・社会福祉協議会・地域活動といった様々な分野の方が委員になっています。そこで出てくる問題は、身近な問題が多くなっています。先ほど、種池委員より、認知症の方々向けの講演の話もありましたが、これをどのように取り上げていくのかというのは、今後の運営懇談会の課題ではないかと思います。

種池委員 前回の会議でも申し上げましたが、私は公民館の活動が今後どんどん先細りになって、衰退していくのではないかとこのことを非常に心配しております。そこで、地域の公民館は地域で運営していくという発想のもとに、今、緑ヶ丘公民館は動いております。公民館の指定管理者制度への移行については、現在は足踏みをしていますけれども、生涯学習振興課とも協議しながら、ソフト面だけではございますが、自分たちで公民館の運営をしていく方向で道を作って、後進の方々にバトンタッチをするのが私たちの役割ではないかと考えています。

委員長
城委員 ありがとうございます。

事務局 公民館の予約制度について、今の予約制度だと何か月も前から予約が必要になり、地域の団体が大変使いにくくなっているのので、元のやり方に戻していただくよう要望いたします。

事務局 今、公民館では、一昨年の1月より予約システムを導入しており、インターネットを使えば、家で公民館の空き状況の確認・予約ができる大変便利なシステムになっております。城委員より指摘があった、地域の団体が使いにくくなったとのご指摘に関しては、私もたまに耳にしています。ただ、一般の利用団体は3か月以上前の受け付けは行っておりません。それに対して、育成委員会・自治会などの地域団体については、さらに前もって予約を取ることは可能です。もし3か月以上前であっても日程が決まっていれば、ご相談いただければ、主催事業等の関係で100%ではありませんが、善処させていただきます。

城委員
委員長 わかりました。

委員長 ありがとうございます。様々な意見・要望がありましたので、公民館さんにおいては、館長会議等でご検討いただければと思います。他に何かございますか？なければ、議題3の質疑については、締めさせていただきます。

「議題4 その他」について、事務局の方から何かございま

事務局
委員長

すか？

特にありません。

委員の皆様から何かございますか？

特にないようなので、これで締めてよろしいでしょうか。

ありがとうございました。

事務局

委員の皆様、長時間の慎重なご審議ありがとうございました。
以上をもちまして、「平成26年度第2回千葉市稲毛区公民館
運営審議会」を終了させていただきます。お疲れ様でござい
ました。

所管課：千葉市教育委員会生涯学習振興課 小中台公民館
電 話：251-6616